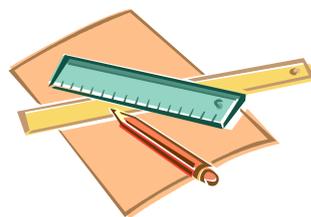


令和5年度

第1学年

# 『学習のしおり』



河内長野市立 西中学校

# 令和5年度 学習のしおり

## もくじ

	教 科	頁
1	国 語	1～2
2	社 会	3～4
3	数 学	5～6
4	理 科	7～8
5	英 語	9～10
6	音 楽	11～12
7	美 術	13～14
8	技 術	15～16
9	家 庭	17～18
10	保健体育	19～20

●学習目標

○思考・判断・表現

目的や場面に応じて工夫して話す能力と、相手の意図を考え、話題の方向を捉え積極的に会話に参加しようという態度を育てる。

目的や意図に応じて文章の構成を考え、自分自身の考えや気持ちを明確に文章にしようという態度を育てる。

本や文章に関心を持ち、内容を捉え自分自身のものの見方や、考え方を広めようとする態度を育てる。

○知識・技能

古典を中心とした伝統的言語に触れ、言葉の特徴やきまりを理解する。漢字などの使い方を理解し、文字を楷書で丁寧に書く態度を育てる。また言語の仕組みに気づかせる。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 国語1 光村図書                  中学書写 教育出版                  副教材 漢字の学習 明治図書                  新・基礎の学習国語 光村図書                  すらすら基本文法 浜島書店</p>	<p>持ち物</p>	<p>教科書                  ファイル                  副教材(ワークなど)</p>
<p>学習の進め方</p>	<p>○ 漢字 漢字を丁寧に書くこと。正確な文字を理解するために、知識の定着を目指します。</p> <p>○ 音読 詩や文の朗読などを行い、表現すること、文章のリズム(主に古典)になれることを目指します。また、耳から入る情報を理解する力を養います。</p> <p>○ 読解 内容の正確な把握を目指し、前後の文章のつながりから読み取る力を養います。文章化されていない部分も、文章化されていることを手がかりに適切に読み取ろうとする態度を育てます。</p> <p>○ 討論 友達の話の正確に聞き取る力、自分の気持ちをより正確に表現する力を養います。</p> <p>○ 書写 実用書写を中心に、正確で読みやすい字を書く経験を積みます。</p>		
<p>学習上の留意点</p>	<p>まずは授業を大切にしてください。国語は人の言葉を直接聞き取ったり、文字を読んだりすることから始まります。単に受身の姿勢では、人の言葉は頭に入ってはきけません。外から入ってきた情報の意味を、いったん自分の中で分析する必要があります。つまり集中力がもつとも大切な教科だと言えます。</p> <p>そして、自分の気持ちや考えを言葉(文章)にする努力をしてほしいと思います。自分が何を考えているのかを、自分自身が整理する作業が必要です。</p> <p>国際社会の中で、論理的に考え、自分の考えを持ち、それを自分の言葉で表現する力が重要視されています。国語の授業では論理的思考力と表現力を磨くことを最大の目的としています。難しいことはありません、「やってみよう」という前向きな姿勢で授業に参加してください。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	授業への準備 「朝のリレー」 「野原はうたう」	中間テスト	知識・技能 ○伝統的な言語の文化に積極的に取り組もうとしている ○言語表現における効果や技能を理解している	○授業での取り組み態度(観察) ○提出物(点検)ファイル・プリント等 ○定期テスト等
5	「シンシュン」 文法(文節等) 「ダイコンは大きな根？」			
6	漢字の組み立てと部首 「情報を整理して書こう」 「ちょっと立ち止まって」 「話の構成を工夫しよう」	期末テスト	思考・判断・表現 ○人に自分の考えを伝えようとしている ○他人の話の内容を的確につかんでいる ○説得力のある話ができる	○授業での取り組み態度(観察) ○提出物(点検)プリント等 ○定期テスト等
7	「情報社会を生きる」 文法(文の成分・連文節) 「詩の世界」	中間テスト		
9	「比喩で広がる言葉の世界」 「本の中の中学生」 文法(指示語・接続語) 「大人になれなかった弟たちに……」	中間テスト	○適切な言葉を選ぶことができる ○丁寧な文字を書こうとしている	○授業での取り組み態度(観察) ○提出物(点検)プリント等 ○定期テスト等
10	「星の花が降るころに」 漢字の音訓	期末テスト		
11	書写 「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」	学年末テスト	○表現上の工夫や、語句のまとまりを理解することができる ○文章を読んで自分の意見を持つことができる	○授業での取り組み態度(観察) ○提出物(点検)プリント等 ○定期テスト等
12	「根拠を示して説明しよう」			
1	「蓬萊の玉の枝」 「今に生きる言葉」			
2	「不便の価値を見つめ直す」 「少年の日の思い出」	主体的に学習に取り組む	○意欲的に授業に参加している。 ○ノートにメモを取り、授業内容を整理している。 ○家庭学習を行うことができる	○授業での取り組み態度、授業態度(観察) ○準備物 ○提出物(点検)プリント等 ○定期テスト等
3	文法(活用しない自立語) 漢字の成り立ち 「随筆二編」 「構成や描写を工夫して書こう」 一年の学びを振り返ろう 「さくらの はなびら」 予備			

状況に応じて学習の順序が変わることや別の教材を用いることもあります。

教材ごとに適宜、表現活動を取り入れる予定です。

●学習目標

- 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料より様々な情報を効果的に調べまとめられる技能を身につけるようにする。(知識・技能)
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。(思考・判断・表現)
- 社会的事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さを自覚できるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)

●学習を進めるに当たって

使用教材	「中学生の地理」 帝国書院出版 「中学生の歴史」 帝国書院出版 地理・歴史のワーク 地図帳 帝国書院	持ち物	教科書・ノート 地図帳・ワーク
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようにしておく。</li> <li>○ 発問に対して、積極的に考えてみる。</li> <li>○ 作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにする。</li> <li>○ 積極的に話し合いに参加し、自分の意見が言えるようにする。</li> </ul> <p>《過程学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予習・復習を大切にし、授業でやった内容を家庭で確認しておく。</li> <li>○ 授業でとった板書内容やメモを整理しておく</li> <li>○ 新聞やニュースなどを見る習慣をつける。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的な内容や意味をまとめて理解しておく。</li> <li>○ 授業中で行った内容をしっかりまとめ、確認しておく</li> <li>○ グラフや表などの資料が読み取れ、地図を使いこなせるようにしておく。</li> <li>○ 時間内で解答できるように、時間を意識して解答に挑戦する。</li> </ul>		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持ち物を忘れずに持ってくるようにする。</li> <li>○ プリントやノートをしっかりまとめ、先生が話した内容などのメモがとれるように日頃から意識して授業にのぞむ。</li> <li>○ 聞くととき、話し合うとき、発表をするとき、考えるときなど、その場に応じた学習態度を身につける。</li> </ul>		

●学習内容及び評価について

		学習計画		評価に当たって	
月	単元計画		試験	評価の観点	評価の場面・方法
	地理	歴史			
4	第1部 世界の姿		中間テスト	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見発表</li> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノート</li> <li>・ワーク学習</li> </ul>
5	日本の姿	第1節			
6		歴史の時代区分			
7		第1章 古代国家の成立と 東アジア	期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問に対して、きちんと考察している。</li> <li>・課題に対して、既習の知識をもとに、正しい考察の上で判断ができる。</li> <li>・課題に対して、自分の意見や考えを文章記述や発表などの言語活動を通じて表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動</li> <li>・意見発表</li> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>
8	第2部	第2章 武家政権の成長と 東アジア			
9	世界のさまざまな 地域		中間テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前向きに授業に参加している。</li> <li>・粘り強い取り組みをしている。</li> <li>・図や表を用いて提出課題にまとめることができる。</li> <li>・各分野、各単元の学習内容を理解し、知識を身につけ、小テストや定期テストで正しく答えたり、教師の問いかけに答えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習態度</li> <li>・意見発表</li> <li>・学習プリント</li> <li>・定期テスト</li> <li>・提出課題</li> </ul>
10	・人々の生活と環境 アジア州				
11	ヨーロッパ州				
12	アフリカ州 北アメリカ州		期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組む態度</li> </ul>	
1	南アメリカ州 オセアニア州	・武士の世の始まり			
2		・武家政権の内と外	期末テスト		
3		・人々の結びつきが 強まる社会			

●学習目標

- 数を負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。文字を用いることや方程式の必要性と意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを式に表したり、方程式を用いたりする能力を身につける。
- 平面図形や空間図形についての観察や操作を通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深める。
- 比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を身につける。
- データを収集して整理し、その分布からデータの傾向を読み取る能力を培う。
- 不確実な事象の起こりやすさについて考察する力を培う。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書「新しい数学1」東京図書 ワーク 授業配布プリント	持ち物	教科書 ワーク ノート
学習の進め方	<p>&lt;確かな学力を身につけよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を前向きな姿勢で集中して受ける。</li> <li>・積極的に発表や質問をする。</li> <li>・分からない部分はその日のうちに解決する。</li> <li>・できる範囲でプリントの自由課題に取り組もう。</li> </ul> <p>&lt;家庭学習について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復習を大切にし、授業の内容を確認しておく。</li> <li>・学習した内容をワークなどで、練習する。</li> </ul> <p>&lt;定期テストについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や授業配布プリント等をしっかり見直しましょう。</li> <li>・授業の内容をしっかりと確認し、反復練習をする。</li> <li>・解き方や公式を理解し、使えるようにする。</li> </ul>		
学習上の留意点	<p>私たちは生活の中で、いろいろな計算を使います。そして様々な活動をするときに、どの方法で取り組めば能率的に行えるだろうかということを考えます。また、人に何かを説明するとき、順序立てて話さないと言いたいことがうまく伝わらないこともあります。数学は計算力だけでなく、そのような力をつけるための時間です。だから答えを出すことだけを考えるのではなく、答えを導き出す過程を大切にしてください。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	0. 算数から数学へ 1. 数の世界をひろげよう 1節 正・負の数	中間テスト	知識・技能 ○正負の数の四則計算・1次式の計算ができる。 ○1次方程式を解くことができる。 ○比例・反比例を理解し、グラフを書くことができる。 ○図形の移動や基本的な作図を理解している。また、おおぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 ○空間における直線や平面の位置関係を理解している。また、お立体図形の表面積や体積を求めることができる。 ○データの整理をしてデータの傾向などを分析することができる。 ○以上はおもな評価観点ですが、それ以外については授業中に説明します。	○授業中の確認問題 ○発言、発表 ○実力テスト ○定期テスト
5	2節 加法と減法 3節 乗法と除法 4節 正・負の数の利用			
6	2. 数学のこぼれを身につけよう 1節 文字を使った式			
7	2節 文字式の計算 3節 文字式の利用 3. 未知の数の求め方を考えよう 1節 方程式とその解き方			
8	2節 1次方程式の利用 4. 数量の関係を調べて問題を解決しよう			
9	1節 関数と比例・反比例 2節 比例の性質と調べ方 3節 反比例の性質と調べ方			
10	4節 比例、反比例の利用 5. 平面図形の見方をひろげよう			
11	1節 図形の移動 2節 基本の作図 3節 おうぎ形	中間テスト	思考・判断・表現 ○正負の数の四則計算の方法や1次式の加法や減法の方法を考えまとめることができる。 ○等式の性質を用いて1次方程式を解く方法を考えまとめることができる。 ○比例・反比例の数量関係を表・式・グラフを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を考えまとめることができる。 ○基本的な作図の方法を考えまとめることができる。 ○空間図形の性質を見つけて出し、立体図形の表面積や体積の求め方を考えまとめることができる。 ○ヒストグラムなどからデータの分析する方法を考えることができる ○各単元において具体的な事象について問題解決したり、学習したことを活用することができる。	○授業中の確認問題 ○発言、発表 ○実力テスト ○定期テスト
12	6. 立体の見方をひろげよう 1節 いろいろな立体			
1	2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の表面積と体積			
2	7. データを活用して判断しよう 1節 データの整理と分析 2節 データの活用	期末テスト	主体的に取り組む態度 数学活動の楽しさや数学のよさについて気付き粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って検討しようしたり、多面的に捉え考えようとしていたりしている。	○授業プリント ○ワーク ○提出物 ○発言、発表 ○忘れ物等 ○授業態度
3	3節 ことがらの起こりやすさ			

●学習目標

- 自然界の様々な現象に対する関心を高めよう
- 目的意識を持って観察・実験などをおこない、科学的に調べる力をつけよう。
- 自然の事物・現象についての理解を深めよう。
- 科学的な見方や考え方を養い、自分の考えを表現する力をつけよう。

●学習を進めるに当たって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書「未来へひろがるサイエンス1」 啓林館</li> <li>○ ワーク「学習整理 理科1年」 学宝社</li> </ul>	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書</li> <li>○ ノート</li> <li>○ ワーク</li> </ul>
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然の様々な現象に興味・関心を持とう。</li> <li>○ 学習の目標をとらえ、授業は真剣に取り組もう。</li> <li>○ ノートや観察・実験レポートはわかりやすく工夫して書こう。</li> <li>○ 宿題はもちろん、自分で課題を見つけ、家庭学習をしっかりやろう。</li> <li>○ わからないところは、自分で調べたり、誰かに質問したりして、必ず解決しよう。</li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 復習はその日のうちに行い、授業を思い出しながら、教科書・ノートなどをもう一度見直す。(わからないところはそのままにしないで質問しよう)</li> <li>○ ノート、問題集、教科書などの問題を解いてみる。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テスト範囲は、テスト一週間前には通知します。</li> <li>○ 教科書・ノート・問題集などをよく見直し、十分に理解しておこう。</li> <li>○ 問題練習をできるようにするまで、繰り返しやろう。</li> <li>○ 学習計画をきちんとたてて、実行していこう。</li> </ul>		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書、ノートなどは必ず授業が始まる前に用意しておき、不要なものは持ってこないようにしよう。</li> <li>○ 理科室への移動はチャイムの鳴る前に完了し、席についておこう。</li> <li>○ 授業では話をよく聞き、集中して、積極的に取り組んでいこう。</li> <li>○ 実験によっては危険な薬品を使うことがあります。また、ガラス器具や危険をともしものがあります。走り回ったり、勝手に触れたりしないようにし、先生の指示をよく聞いて行動するようしよう。</li> </ul>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	自然の中にあふれる生命	中間テスト	知識・技能 ○観察や実験の方法を正しく身につけているか。 ○図やグラフを工夫し作成することができたか。 ○自然に関するいろいろな用語の意味や観察・実験の方法などを正しく理解し、確実な知識として身につけ、適切に活用することができたか。	・ノート ・プリント ・定期テスト ・実力テスト
5	いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類			
6	2章 動物の特徴と分類			
7	身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質	期末テスト	思考・判断・表現 ○疑問を解決する方法を考え、観察や実験などの結果から筋道立てて考え、規則性を見つけ出し表現することができたか。 ○記述問題や論述問題に取り組み、筋道を立てて説明できたか。	・ノート ・プリント ・定期テスト ・実力テスト
8				
9	2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質			
10	4章 物質のすがたとその変化 光・音・力による現象	中間テスト	主体的に取り組む態度 ○意欲、関心を持って課題に取り組む姿勢が感じられたか。 ○意欲的に自ら学習を進められたか。 ○理科の楽しさや理科のよさについて気付き粘り強く考え、理科を生活や学習に生かそうとしたりしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている	・行動観察(態度・発言など) ・提出物 ・プリント ・小テスト等
11	1章 光による現象			
12	2章 音による現象 3章 力による現象			
1	生きている地球 1章 身近な大地	学年末テスト		
2	2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地			
3	4章 語る大地			

●学習目標

○英語での言語活動(インタビュー、スピーチ、チャットなど)やグループ・ペア活動に積極的に参加し、他者とのコミュニケーションを大事にする姿勢を身につける。

○「読む・書く・話す(発表&やりとり)・聞く」を日常的に反復し、自分を表現する力を身につける。

○異文化に触れることで広い視野をもち、興味をもって学習に取り組めるようになる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 Sunshine 授業配布プリント 指定の副教材	持ち物	教科書 マスターノート めきめき English(ワーク) ファイル 2 種類
学習の進め方	<p>&lt;確かな学力を身につけよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの力をバランスよく身につけましょう。</li> <li>・実際に英語を使って、積極的にコミュニケーションをとるようにしましょう。</li> <li>・外国の文化にも興味を持ちましょう。</li> </ul> <p>&lt;家庭学習について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、継続して、学習する習慣をつけましょう。</li> <li>・日常的に「単語練習」「本文の音読」を行い、最終的には「書ける」プラス自分の意見を付け足して言えるようになりましょう。</li> <li>・授業で習った内容を、その日のうちに、ワークで復習しましょう。</li> </ul> <p>&lt;定期テストについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やノート、ワークをしっかり見直しましょう。</li> <li>・発音やアクセントを意識し、声に出しながら単語を書いて覚えましょう。</li> <li>・教科書の文を暗唱できるようにしましょう。</li> </ul>		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れ物がないようにしましょう。</li> <li>・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておきましょう。</li> <li>・CDや先生の発音をしっかり聞き、英語の発音を意識しましょう。</li> <li>・授業中は何度も間違い、その英語を使うことに慣れましょう。活動には積極的に参加し、「話す・聞く」の姿勢を身につけましょう。</li> <li>・提出物の提出期限は必ず守りましょう。</li> </ul>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって					
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の基準・場面・方法			
4	アルファベット	中間テスト	① 知識及び技能 ○学習内容の言語材料や文法項目の意味や働きを理解できる。 ○英文を読み、内容を理解できる。 ○英文や質問文の内容を理解できる。	○定期テスト・実力テスト ○単語テスト(小テスト) ○パフォーマンステスト ○発表活動 ・学習内容の言語材料や文法項目の意味や働きを正確に理解しているかどうか。 ・英文の内容が正確に理解できているかどうか ・英文や質問文の内容を聞き、正確に理解できているか			
5	be 動詞・一般動詞						
6	疑問詞 複数形						
7	自己紹介スピーチ						
8							
9	命令文 一般動詞(3人称単数)				期末テスト	② 思考力・判断力・表現力 ○学習内容の言語材料や文法項目を使って、自分の思いや考えを表現できる。 ○自分の思いや気持ちを整理し、気持ちを込めて発表や音読ができる。	○定期テスト・実力テスト ○単語テスト(小テスト) ○パフォーマンステスト ○提出物 ○英作文 ○発表活動 ・学習内容の言語材料や文法項目を適切に利用し、自分の思いや考えを表現できているかどうか ・自分の思いや気持ちを整理し、気持ちを込めて発表や音読ができているかどうか。
1	疑問詞				実力テスト		
0	代名詞						
	can						
1	There is/ are～	中間テスト					
1	他者紹介スピーチ						
1		期末テスト					
2	現在進行形						
1	一般動詞(過去) 過去進行形	学年末テスト	③ 主体的に学習に取り組む態度 ○学習内容の習得にむけて、主体的に取り組むことができる。 ○発表活動やペア・グループワークに積極的に参加することができる。	○授業に対する意欲・態度 ○パフォーマンステスト(スピーチ・インタビュー・チャット・ディスカッション) ○提出物 ○発表活動への取り組み ・学習内容の習得にむけて、概要や要点を主体的に捉えようとしているかどうか。 ・発表活動やペア・グループワークで、積極的に参加しようとしているかどうか。			
2	読み物教材 スピーチ						
3	special project						

●学習目標

- 音や音楽への興味・関心を養い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、様々な鑑賞を通して音楽の良さや多様性を感じ取る。
- 豊かな音楽活動をめざし、基礎的な表現(歌唱・器楽・創作)を身に付ける。
- 多様な音楽を味わい、そのよさや美しさを感じることで、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 中学音楽1 (教育芸術社) 中学器楽 (教育芸術社)</p>	<p>持ち物</p>	<p>教科書2冊 アルトリコーダー 音楽ノート 音楽ファイル</p>
<p>学習の進め方</p>	<p>[豊かな学力を身につけよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○興味・関心をもって授業に臨む。</li> <li>○授業の準備をきちんとする。(忘れ物をしない)</li> <li>○話をよく聞き、意欲的に練習や活動に参加する。</li> <li>○授業の中で学習した曲について、意見や感想を持つようにする。</li> </ul> <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実技の練習(リコーダー)を行うように指導する。</li> </ul> <p>[定期テスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実技テストは基本として授業時間内に行う。</li> <li>○毎回の授業での活動や練習を大切にする。</li> <li>○定期テストは每学期行う。授業内容をしっかりと理解すること。</li> </ul>		
<p>学習上の留意点</p>	<p>基礎的な声の出し方や楽器奏法の技能や表現を学ぶことで、積極的に表現をしようとする意欲を高め、互いの個性を認め合い、共に表現する楽しさや喜びを感じあう。また、「音」はすぐに消えてしまう1回限りのものであることを理解し、美しいハーモニーを作る為に、集中して「聴く」態度を心掛ける。一人ではできない合唱をみんなと協力して取り組み、のびのびと表現できる雰囲気を作る。「合唱」「器楽」そして「鑑賞」などを通して、音楽に対する感性を身に付け、音楽のもつ美しさ、素晴らしさを感じとり意欲的に取り組む。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	●歌の基礎を作ろう	知識・技能	○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、表現を工夫して歌っているか。 ○楽器の特徴をとらえ正しい奏法を身につけ表現しているか。 ○さまざまな音楽の背景にある文化や歴史を総合的に理解し聴くことができているか。	歌唱 器楽 定期テスト 実技テスト
5	●リコーダーに親しもう			
6	●鑑賞 曲想の変化を感じ取って聴こう			
7	●楽典 音符や記号を覚えよう	期末テスト	○歌詞の内容や曲想を感じ取りながらどのように表現したらよいか自分なりの思いや意図を持っているか。 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解してどのように音楽表現するかについて思いや意図をもっているか。 ○曲想にふさわしい歌い方で表現しているか。 ○曲の構成やオーケストラの音色に関心を持ちながら、全体を味わって聴いているか。	歌唱 器楽 ワークシート 定期テスト 実技テスト
9	●詩や曲の雰囲気合った声で言葉を大切に歌おう			
10	●音楽づくり			
11	●鑑賞 詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取ろう			
12	●アルトリコーダー 指使いを確実にしよう			
1	●歌詞を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう	期末テスト	主體的に学習に取り組む態度	歌唱 器楽 ワークシート
2	●鑑賞 日本の伝統音楽に親しもう			
3	●日本の和楽器に親しもう			

●学習目標

- 楽しみながら美術の活動に取り組み、美術を愛好する心を培い、うるおいのある心豊かな生活を創造する意欲を育てよう。
- 対象を見つめて感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する力を身に付けよう。
- 「こんな作品にしたい」とのねらいに応じて、形や色彩などによる表現の技能を身に付け、創意工夫しよう。
- 自然の造形や美術作品などについての基礎的な見方を広げよう。
- 生活の中で受け継がれてきた美術文化に関心を持ち、よさや美しさなどを味わおう。

●学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 美術1 美術との出会い (日本文教出版) 副教材 美術資料 (秀学社)	持ち物	教科書 ノート 資料集 筆記用具
学習の進め方	<p>[確かな学力を身につけよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいをしっかりとらえ、目標をもって授業に臨もう。</li> </ul> <p>&lt;表現活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな発想力・計画的な構想力のもと試行錯誤をしながらも粘り強く取り組み、達成感や充実感を味わおう。</li> </ul> <p>&lt;鑑賞活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術作品などに対して自分の価値意識を持って味わい、自身の意見や感想をしっかりと持とう。</li> </ul> <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○テレビや新聞・インターネットなどで美術関連の番組や記事などに興味・関心を持とう。</li> <li>○美術館や博物館で本物に触れる機会をつくろう。</li> <li>○自分の作品を飾るなどして、生活の中に活かそう。</li> </ul> <p>[定期テスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○定期テストは每学期行う。</li> <li>○授業内で行うテストについての説明をしっかりと理解すること。</li> </ul>		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャイム着席を守ろう。</li> <li>○授業に必要なものを忘れないようにしよう。</li> <li>○説明をしっかりと聞き、授業のねらいをとらえ、発想を広げよう。</li> <li>○創意工夫をして粘り強く取り組み、達成感を味わおう。</li> <li>○後片付けは責任をもってきちんとしよう。</li> <li>○配布した資料等は、ノートに貼り付け、整理しておこう。</li> </ul>		

●学習内容及び評価について（1学年 美術科）

学習計画		評価にあたって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	<b>美術との出会い</b> ・この教科書で学ぶみなさんへ <b>文字の基本</b> <b>文字っておもしろい</b> ・形や色彩の工夫で楽しく伝える	期末テスト	知識・技能 ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ○意図に応じて表現方法を工夫して表している。	作品 ワークシート テスト
5	<b>色彩の基本・仕組み</b>			
6	<b>さまざまな技法で描く</b> <b>人間っておもしろい</b>			
7	<b>鑑賞との出会い</b> ・見方や感じ方を広げよう <b>絵の中をよく見ると</b> ・探して、感じて、語り合っ <b>なぜか気になる情景</b> ・あなたなりの視点で描く <b>見つめると見えてくるもの</b>			
8				
9	<b>日常の中の美術</b> <b>材料に命を吹き込む</b> ・じっくり見て、感じながらつくる			
10	<b>広がる模様の世界</b> ・特徴をとらえて構成する <b>自然の美しさから生まれた</b> ・暮らしを豊かにする形を考える			
11	<b>刷って出会う美しさ</b> ・版の特徴を表現に生かそう <b>墨と水の出会い</b> ・のびのびと描いて			
12	<b>わくわくコミュニケーション</b> ・情報を整理して伝える			
1	<b>暮らしの中の木の工芸</b> ・材料の特性を生かして <b>折って、切って、巻いて</b> ・紙で美しい装飾をつくる	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度 ○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度 ワークシート 練習課題 テスト
2	<b>祭りを彩る造形</b> ・地域に息づく文化を知る			
3				
		学年末テスト		

●学習目標

○ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

材料と加工に関する技術

(1)生活や産業の中で利用されている技術について

- ・技術が生活向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考える。
- ・技術の進展と環境との関係について考える。

(2)材料と加工法について

- ・材料の特徴と利用方法、適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できるようになる。
- ・材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考える。

(3)材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作について

- ・使用目的や使用条件に即した機能と構造について考える。
- ・構想の表示方法を知り、製作図を書くことができる。
- ・部品加工、組立て及び仕上げができること。

●学習を進めるに当たって

材 使用 教	教科書 「技術・家庭 技術分野」 開隆堂	持 ち 物	教科書・ノート 筆記用具、クロームブック
学習の 進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>○説明はしっかりきこう。</p> <p>○何事もじっくり考え、自分にできる精一杯の努力をしよう。</p> <p>○わからないところ、できていないところを明確にし、学習・実習に取り組もう。</p> <p>○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持とう。</p> <p>○実習中は、                      ・安全第一に取り組もう。      ・説明中は静かにしよう。                      ・清潔にしよう。                      ・マナーを守ろう。</p> <p>《家庭学習》</p> <p>○学校で習ったことを家で活用し、実践してみよう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>○学習したことをしっかり復習し、テストに臨もう。</p>		
学習上の 留意点	<p>○忘れ物をしない。</p> <p>○提出物は期限を守り、きちんと仕上げ提出しよう。</p> <p>○実習においては、目的と方法を理解し、安全を第一に取り組もう。</p> <p>○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行おう。</p> <p>○生活の中で活用できるように工夫しよう。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	題材計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	<b>ガイダンス</b> ・技術分野で学ぶこと ・技術を見つけよう ・技術と私たちの生活	期末テスト	<b>知識・技能</b> ・目的とする製作品を設計することができる。 ・製作の目的と製作品に用いる材料に適した加工を行うことができる。 ・製作品の構想の表示方法に関する知識を身に付け、設計時に必要な材料の性質や機能及び構造について理解している。 ・加工技術に関する知識を身に付け、工具の仕組みについて理解している。 ・材料と加工に関する技術を適切に評価し活用ようとしている。	行動観察 提出物 定期テストなど ノート
5	・学習の見通しを持とう			
6	<b>材料と加工に関する技術</b> ・ものづくりの視点と進め方 ・材料 ・設計			
7	・木材による製作 ・金属・プラスチックによる製作	期末テスト	<b>思考・判断・表現</b> ・生活や産業の中で用いられている技術に関心を持ち、技術が果たしている役割や、環境・エネルギー・資源について考えようとしている。 ・加工技術に関心を持ち、目的や条件に応じて、工具や機器を適切に活用しようとしている。	行動観察 提出物 定期テストなど ノート
8				
9	<b>材料と加工に関する技術</b> ・製作品の製作 実習：本立て、小物入れ、等			
10	・部品の加工 ・組立て	期末テスト	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・使用目的や使用条件に即した製作品を構想し、その設計について工夫し創造している。 ・材料の特徴と加工の目的に応じて、工具の仕組みを生かした使い方を工夫している。	行動観察 提出物 定期テストなど ノート
11	・仕上げ			
12	・製作のまとめ ◇生物育成の技術			
1	・生活や社会と生物育成の技術 ・さまざまな生物育成の技術 ・生物育成の技術による問題解決	学年末テスト		
2	・これからの生物育成の技術			
3	・評価・活用			

●学習目標

○生徒の生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活に関わる基礎的・基本的な知識及び技術を習得することによって、生活の自立を目指し、家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度を育てる。

**家族・家庭生活**

・中学生になった自分と家族との関わりをみつめ直し、家族関係をよりよくする方法を考えるとともに、家庭の機能は経済生活、社会生活の安定に基盤があることを理解する。

**衣生活**

・課題をもって、健康・快適・安全で豊かな衣生活に向けて考え、工夫する活動を通して、衣生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

**食生活**

・食事の役割や健康への影響に関心を持ち、中学生の成長に必要な栄養の特徴を理解する。

**消費生活・環境**

・購入・支払い方法の特徴を理解し、消費者被害を回避する方法、対応の仕方を考える。

●学習を進めるに当たって

材 使 用 教	教科書 「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂	持 ち 物	教科書 ファイル (裁縫道具)
学 習 の 進 め 方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>○説明はしっかりききましょう。</p> <p>○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の努力をしましょう。</p> <p>○わからないところ、できていないところを明確にして、学習・実習をしましょう。</p> <p>○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持ちましょう。</p> <p>○各実習においては、<b>安全第一</b>に取り組みましょう。</p> <p>・説明中は静かにしましょう。</p> <p>・清潔にしましょう。</p> <p>・マナーを守りましょう。</p> <p>《家庭学習》</p> <p>○学校で習ったことを家で実践していきましょう。</p> <p>○家庭では、進んでお手伝いをし、家族の一員としての役割を果たしましょう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>○授業中に学習したことをしっかり復習しましょう。</p>		
学 習 上 の 留 意 点	<p>○忘れ物をしない。</p> <p>○提出物は期限を守り、きちんと提出しましょう。</p> <p>○くれぐれも安全を第一に実習を行いましょう。</p> <p>○実習においては、目的と方法を理解して取り組みましょう。</p> <p>○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行いましょう。</p> <p>○便利なものを利用したり、生活をよりよく工夫していきましょう。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	<p>ガイダンス</p> <p>家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長と家族・家庭生活</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <p>期末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭を支える社会について理解している。</li> <li>幼児の体と心の発達の特徴について理解している。</li> <li>幼児の成長や生活は家族や周囲の人々に支えられていること気づき、家族や周囲の人々の役割の大切さを理解している。</li> <li>遊び道具の役割を理解している。</li> <li>幼児の特徴を理解し、関わり方を工夫できる。</li> <li>肉、魚、野菜それぞれの特徴や調理上の性質について理解している。</li> </ul>	<p>定期テスト</p> <p>実習</p> <p>ノート</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活を支える社会のしくみ</li> <li>幼児の体の発達</li> </ul>			
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の心の発達</li> </ul> <p>食生活の自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事の役割と食習慣</li> <li>中学生に必要な栄養を満たす食事</li> </ul>			
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常食の調理</li> <li>夏休みの課題</li> </ul>			
8				
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の遊びと発達</li> <li>幼児と遊ぶおもちゃづくり</li> </ul>			
10	<p>衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じた衣服の選択</li> <li>日常着の手入れと保管</li> <li>生活を豊かにするものの製作</li> </ul>			
11				
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬休みの課題</li> </ul>	<p>思考・判断・表現</p> <p>期末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の年齢や発達の特徴を考えて、幼児の喜ぶ遊び道具をつくることができる。</li> <li>幼児の心身の発達に応じ、安全に留意した幼児の遊び道具、遊び方について考え、工夫できる。</li> <li>持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。</li> </ul>	<p>実習</p> <p>ノート</p>
1	<p>消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活と消費</li> <li>購入・支払いと生活情報</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者被害と消費者の自立</li> </ul>			
3				
		<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>学年末テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業準備を忘れず持参している。</li> <li>授業集中ができています。</li> <li>提出物を忘れず提出している。</li> <li>食生活について関心を持って取り組んでいる。</li> <li>幼児の体と心の成長や、地域・家庭の役割について理解しようとしている。</li> <li>幼児の生活に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。</li> </ul>	<p>ノート</p> <p>行動観察</p>

●学習目標

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性や健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。
- 運動や健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 中学保健体育[Gakken] 副読本・副教材 図解中学体育[あかつき] 中学保健体育の学習①[Gakken]</p>	<p>持ち物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半袖、ハーフパンツ</li> <li>・ジャージ上下</li> <li>・単元で必要なもの (体育館シューズ・水着など)</li> <li>・体育ノート</li> </ul>
<p>学習の進め方</p>	<p>(確かな学力を身につけよう)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体育分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる領域での運動能力の向上を図るとともに生涯にわたって運動に親しむ態度を養おう。</li> <li>・仲間と協力して互いに励まし合いながら課題に挑戦しよう。</li> <li>・ルールやマナーを守り安全な環境で運動を楽しもう。</li> </ul> </li> <li>○保健分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の発達と心の健康、健康な生活と病気の予防、スポーツの多様性について理解し、明るく豊かな生活を営む態度を養おう。</li> </ul> </li> <li>○家庭学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身に付けよう。</li> </ul> </li> <li>○定期テスト <ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろより授業中の説明や資料の解説、などを整理しておこう。(ノート)</li> <li>・テスト範囲のお知らせプリントで内容を確認してしっかり勉強しよう。</li> </ul> </li> </ul>		
<p>学習上の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更衣を済ませ準備や整列をし、始業チャイムであいさつを始められるようにする。</li> <li>・準備や片付けを積極的に協力して行おう。</li> <li>・積極的に授業に参加し、目標に向かって努力しよう。</li> <li>・苦手な種目でもできない理由を考えて、あきらめないで挑戦しよう。</li> <li>・仲間の学習を援助しよう。</li> <li>・授業中の説明や話はしっかり聞き、ノートや資料に書き込むようにしよう。</li> <li>・保健の分野では準備物の忘れ物をせず、先生の話をしっかり聞き、常に自分のことに置き換えて、考えるようにしよう。</li> <li>・健康、安全に留意して取り組もう。</li> </ul>		

●学習内容及び評価について(1年)

		学習計画		評価に当たって				
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法				
4	・集団行動 体づくり運動 ・新体カテスト	心身の発達と心の健康	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのスポーツ種目の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力や、ルール、用語などについて理解しているか。</li> <li>・それぞれの種目の楽しさや喜びを味わい、記録や技能の向上が図れているか。</li> <li>・基本的な技能や仲間と連携した動きで試合を展開しているか。</li> <li>・保健分野の内容を健康や安全に関心を持ち、理解しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での活動</li> <li>・実技テスト</li> <li>・学期末テスト</li> </ul>			
5	・ハードル走(男子) ・マット運動(女子)							
6	・マット運動(男子) ・ハードル走(女子)							
7	・水泳(男子 女子)							
8								
9	・体育大会練習 ・陸上(短距離走)					思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分やチームを振り返り、課題や改善点等がノートに明確に書かれているか。</li> <li>・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたり、書き出しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中のミーティングなど(観察)</li> <li>・個人ノートの内容</li> <li>・授業中の発言(観察)</li> </ul>
10	・ソフトボール(男子) ・バレーボール(女子) ・体育理論							
11	・バレーボール(男子) ・ソフトボール(女子)							
12	・長距離走(男子 女子)							
1	・サッカー(男子) ・柔道(女子)	健康な生活と病気の予防①	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動量を多くしているか。</li> <li>・安全に気を配り、準備や片付けを協力して行えているか。</li> <li>・早く更衣をすませ活動場所に来ているか。</li> <li>・それぞれの単元に積極的に取り組んでいるか。</li> <li>・体の健康に注意し、活動に参加しているか。</li> <li>・仲間とともに運動を楽しめているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の活動量(観察)</li> <li>・仲間への声かけ、指示(観察)</li> <li>・授業中の発言、発表の様子(観察)</li> <li>・出席率(参加率)、忘れ物や見学の有無</li> </ul>			
2	・柔道(男子)							
3	・バスケットボール(女子)							
				期末テスト				
				学年末テスト				